

<h1>あ〜い</h1>	平成24年 No.128
	7 月号
月刊 発行	「あ〜い」編集委員会
	品川区西大井 4-1-8 大井第三地域センター内
	☎ 3773-2000

はじめまして!! 新しく赴任された先生方のご紹介です

伊藤小学校 山田隆次校長

はじめまして、ご縁があり、この4月、隣の上神明小から、満開の桜の待つ伊藤小学校へ昇任してまいりました、校長の山田隆次（やまだ たかつぐ）と申します。薄桃色のソメイヨシノが大好きです。4月6日、始業式、入学式のその日は、大好きなその花が校庭いっぱい広がっていました。着任してきた1年目の学校が、自分を味方してくれている、そんな思いを感じる感謝、感謝のスタートでした。勿論、感謝したいのはソメイヨシノだけではありません。425人の児童の笑顔、教職員の仕事ぶり、地域の皆様の温かさに感謝です。この感謝に応えるべく、伊藤小発展のために、自らの責務を重く受け止め、それらの感謝に恩返しすることをお約束致します。地域の皆様、益々のご支援をお願い申し上げます。



イラストは吉永蛍先生

伊藤学園 山本充子副校長

区内、荏原地区の清水台小学校より副校長として着任しました。品川区区内3校目ということもあり、大井地区の小学校は全て伺ったことがあります。顔見知りの先生方も多く、心強く思っています。全校児童2桁の小学校から、全校児童生徒4桁の施設一体型小中一貫校への赴任は大きな環境の変化ですが、大規模校の伊藤学園ならではの組織力を頼もしく感じています。大井地区は日本の歴史の宝庫でもあります。その歴史に恥じないよう、地域の皆様と共に児童生徒の健やかな成長に尽力していきます。どうぞよろしく申し上げます。



イラストは石原こずえ先生

♪ 幼稚園・保育園めぐり ♪

私たちの街(大井第三地区管内)の就学前施設についてマップでご紹介します。各施設については次号以降でご案内します。

★区立保育園
☆私立保育園
●区立幼稚園
○私立幼稚園

地域コミュニティと防災力

「地域コミュニティと防災力」をテーマに、東日本大震災を経て、今東京に住む私達がこれからの震災に備えて、何をすべきなのかについて順次考えてみたいと思います。

東日本大震災から見る被害の種類

- まず、東日本大震災から、被害の種類を見ていきましょう。
- 1、地震による建物被害** 阪神大震災では建物の倒壊により多数の死者がでました。しかし、これを契機に建物の耐震化が進み、近年の建築基準をクリアした住宅、ビルは、東日本大震災でほとんど被害を受けていませんでした。
 - 2、津波による被害** 津波で注意すべきことは、津波の高さについての警報はあてにせずにより高台に逃げることです。また、津波警報が解除されるまで海岸・川には近づかないようにしましょう。
 - 3、火災の被害** 東京で大震災が起きた場合、95%の死者が火災によると予想されています。今回の震災のように、津波によるガソリンや、重油、危険物の流失などからも延焼火災が起こります。

次回は「今後取り組むべき4つの対策」についてです。(事務局 記)